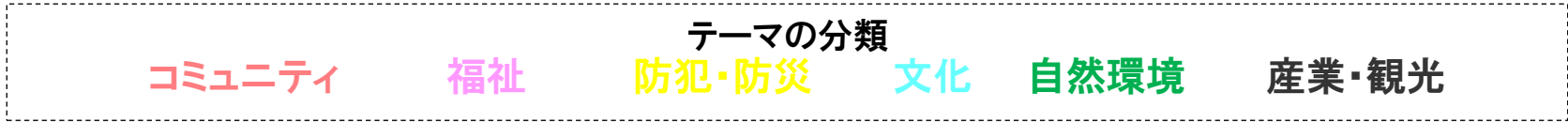


# まちづくりの方向性(案)



No.	現行計画のテーマ (将来像)	区の魅力と活力向上 推進事業のテーマ	まちづくりの方向性(案)	分類	まちづくりの方向性(案)の説明	変更点・変更理由
①	都市の快適さと自然の ゆとりが調和したまち	地域への愛着と誇りが 持てるまち	<b>地域愛をはぐくみ、誰もが主役と なって暮らせるまちづくり</b>	<div style="background-color: red; color: white; padding: 2px;">コミュニティ</div> <div style="background-color: cyan; color: white; padding: 2px;">文化</div>	<b>歴史・文化</b> などの地域資源の活用や、住宅 団地をはじめとしたそれぞれの地域における <b>住 民の主体的・継続的な活動</b> により、地域への愛 着と誇りをはぐくむとともに、誰もが <b>「自らのまちは 自ら創る」</b> ことを担って暮らせるまちづくりを進め る。	・現行の方向性では具体的な取 組みに結びつけづらいため、魅 活のテーマをベースに作成。 ・「地域への愛着と誇り」を「地域 愛」に短縮。 ・地域愛を持つことをゴールにせ ず、誰もが「主役となって暮らせ る」まちを目指す。
②	人と人のつながりを大 切にし、笑顔と安心を つくり出すまち	人と人のつながりを大 切にするまち	<b>みんなで支え合い、安全・安心 に暮らせるまちづくり</b>	<div style="background-color: magenta; color: white; padding: 2px;">福祉</div> <div style="background-color: yellow; color: black; padding: 2px;">防犯・防災</div>	老若男女を問わず住民同士が <b>支え合うこと</b> で、「自助」「共助」による地域の <b>福祉</b> を推進し、 また、平成26年8月豪雨災害等の教訓を踏ま えた <b>防災力</b> 、犯罪を未然に防ぐ <b>防犯力</b> を高め、 誰もが <b>安全・安心</b> に暮らせるまちづくりを進める。	・「人と人のつながり」を「支え合 い」とすることで、福祉も関わる 方向性とした。 ・豪雨災害を受けて、防災につ いて明言。
③	土と緑に親しみ、自然 の恵みと環境を大切に するまち	土と緑に親しみ、自然 の恵みと環境を大切に するまち	<b>自然とともに豊かに暮らせるまち づくり</b>	<div style="background-color: green; color: white; padding: 2px;">自然環境</div> <div style="background-color: grey; color: white; padding: 2px;">産業・観光</div>	<b>里山や川</b> などの身近な <b>自然</b> を保全・活用し、 <b>農林業</b> の振興や中山間地域の活性化、住民が <b>自然</b> と触れることのできる <b>環境</b> づくりに取り組み、 自然と共に豊かに暮らせるまちづくりを進める。	・現行の将来像の語句を短縮 し、自然とともに経済的、心身的 に豊かに暮らすことをイメージし た。
④	地域と大学の交流と連 携をはぐくみ、学ぶ喜 びがあふれるまち	地域と大学の交流と連 携により、元気あふれ るまち	<b>地域と大学がつながり、はつら つと暮らせるまちづくり</b>	<div style="background-color: red; color: white; padding: 2px;">コミュニティ</div> <div style="background-color: cyan; color: white; padding: 2px;">文化</div>	大学と地域の <b>交流・連携</b> を促進し、大学の知 的資源を活用した <b>学びの機会の創出</b> や、大学 生のパワーやアイデアを生かした <b>協働の取組</b> に より、地域課題の解決を図るとともに、 <b>文化的</b> で <b>活力</b> にあふれるまちづくりを進める。	・地域が大学に求めているのは 知的資源のみでなく、学生のパ ワーやアイデアによる地域の活 性化であると思われるため、学 生との協働により活力にあふれ るまちを表現した。